**第3学年1組算数科学習指導案**

**1　題材名**2けたの数をかける計算

**2　本時の学習指導**（5/11時）

（1）目標

○2位数×2位数で、部分積が3位数になる乗法の計算を筆算で解くことができる。

（数量や図形に対する技能）

（2）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 1　教科書p.171２⑤～⑧の問題を解き、前時の復習をする。問題場面82×64の計算のしかたを考えよう。2　本時の問題場面について知り、課題をつかむ。 　C1　前回の計算と似ている。　C2　82×60と82×4を計算して、それらの答えを足せばよい。3　計算の仕方を発表する。　C1　64を60と4に分けて、82×60と82×4の答えを足して求める。課題82×64を筆算で求めよう。4　筆算の仕方を理解する。5　筆算を活用して、教科書p.171３・４の問題を解く。6　本時の学習のまとめをする。 | 〇前時に解いた問題の続きを解くことで、2位数×2位数で部分積が2位数になる乗法の筆算の仕方を思い出せるようにする。〇前時の内容の「31×23の計算のしかたを考えよう」を振り返ることで、「64を60と4に分ける」という発想が持てるようにする。〇計算の仕方が分からなかった児童にも分かるように発表者を促し、計算の仕方を学級全体で共有する。〇手順を丁寧に確認しながら説明し、82×4と82×60の積がそれぞれ3位数になっても、和を求める段階で計算が合うようにする。〇部分積の桁数が増えてくると、部分積の位が縦に揃わないために、和を求める段階で誤りが生じやすいため、位がずれないように記すことで誤りをなくすようにする。〇くり上がりのある場合は、次の位の数を書く場所の上にくり上がりの数を書いて、誤りを防ぐようにする。〇単位が必要な答えには、単位を忘れないように注意するようにする。〇児童の答えを用いて答え合わせをし、誤りがあった場合は学級全体で誤りの原因を共有し、次につなげるようにする。評 2位数×2位数で、部分積が3位数になる乗法の計算を筆算で解いている。（数量や図形に対する技能）〇2位数×2位数の乗法は、部分積が3位数になっても筆算で求めることができる。 | 7’7’5’8’15’3’ |

**3　備考**　在籍児童数　35名

**4　板書計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 82×64の計算のしかたを考えよう。82×64･･･82×4＝32882×60＝4920→524882×64を筆算で求めよう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 82× 64328 | 82× 64328492　　 | 82× 64328　･･･82×4492　 ･･･82×605248　 |

 | ３①42×43②62×24③84×12④43×32⑤28×72⑥23×49⑦73×69⑧56×65４式　47×34＝1598答え　1598本 |